

平成 29 年度三重大学国際交流事業実施報告書 (学内版)

1. 申請部局

学部・研究科名等： 医学部・看護学科

事業担当者の職・氏名： 教授 成田有吾 (基礎看護学)

内線電話番号： 6 2 1 7

電子メール： yug-n@nurse.medic.mie-u.ac.jp

2. 事業の名称 (20 字以内, 別に副題を付けても良い)

看護学科における ドイツ および タイ提携校との相互交流促進事業

3. 事業内容の別 (該当するところにチェックを入れてください。)

教職員, 学生の海外派遣 (学会やシンポジウム等の出席は除く)

海外交流機関等からの教職員, 学生の受け入れ

国際教育プログラムの開発や推進

その他

4. 事業の取組結果

(1) 事業概要

2017年度の本学医学部看護学科(大学院医学系研究科看護学専攻)のドイツおよびタイの提携校からの受け入れ、および派遣として、下記の5件に取り組んだ。①5月18～25日:タイ, チェンマイ大学から学生6名教員1名 JST さくらサイエンスプラン(SSP)で来訪。②5月27～6月3日:ドイツ, カトリック応用科学大学 看護学専攻学生5名, 教員3名が看護学科, 附属病院, 附属中学校 & 紀南病院を来訪。③9月23～30日, ドイツ, カトリック応用科学大学へ看護学科学部学生3名と教職員3名が訪問。④12月17～24日:カトリック応用科学大学 医療経営学専攻学生10名, 教員1名が看護学科, 附属病院 & 紀南病院を来訪。⑤2018年2月27～3月7日, タイ, チェンマイ大学看護学部へ学生4名と教職員3名が訪問した。

(2) 事業の背景・これまでの実績

2014年からタイ, チェンマイ大学看護学部, および, ドイツ, フライブルク・カトリック応用科学大学との大学間提携のもと, 看護学科学生・教員との相互交流を毎年行ってきた。3年目2016年および4年目2017年, 本学国際交流事業経費助成に採択された。

ドイツ:フライブルク・カトリック大学 国際交流センター長は, 四日市ご出身の広江尚美氏である。広江センター長が, 本学との関係確立に向けて積極的に活動され, 三重大教育学部に続いて, 2014年6月11日, 医学部との大学間協定の締結に至った。文書交換後, 先ず畑下博世教授の現地訪問があり, 同年9月の畑下教授(当時学科長), 児玉講師および学生2名(4年生)のドイツ, フライブルク・カトリック大学訪問により, 看護学科との実質的な交流が始まった。学部間協定ながら, フライブルク・カトリック大学に医学科はなく, 実質的に看護学科との協定となった。

タイ:チェンマイ大学は, タイ北西部に位置する古都チェンマイにある国立大学で, 広大なキャンパスと17の学部, 3研究所を持ち, 学生総数2万4000人に及ぶ。看護学部は本学医学部看護学科の提携校で, 2013年から年に一度, 相互に1週間の研修を受け容れてきた。実質的な交流が重なるにつれて, 教員間での研究を企画・推進するようになった。

(3) 事業実施結果

①5月18～25日:タイ, チェンマイ大学から学生6名教員1名 JST さくらサイエンスプラン(SSP)で来訪した。科学技術振興事業団(JST)へ医療と科学技術をテーマに申請し, 採択された。

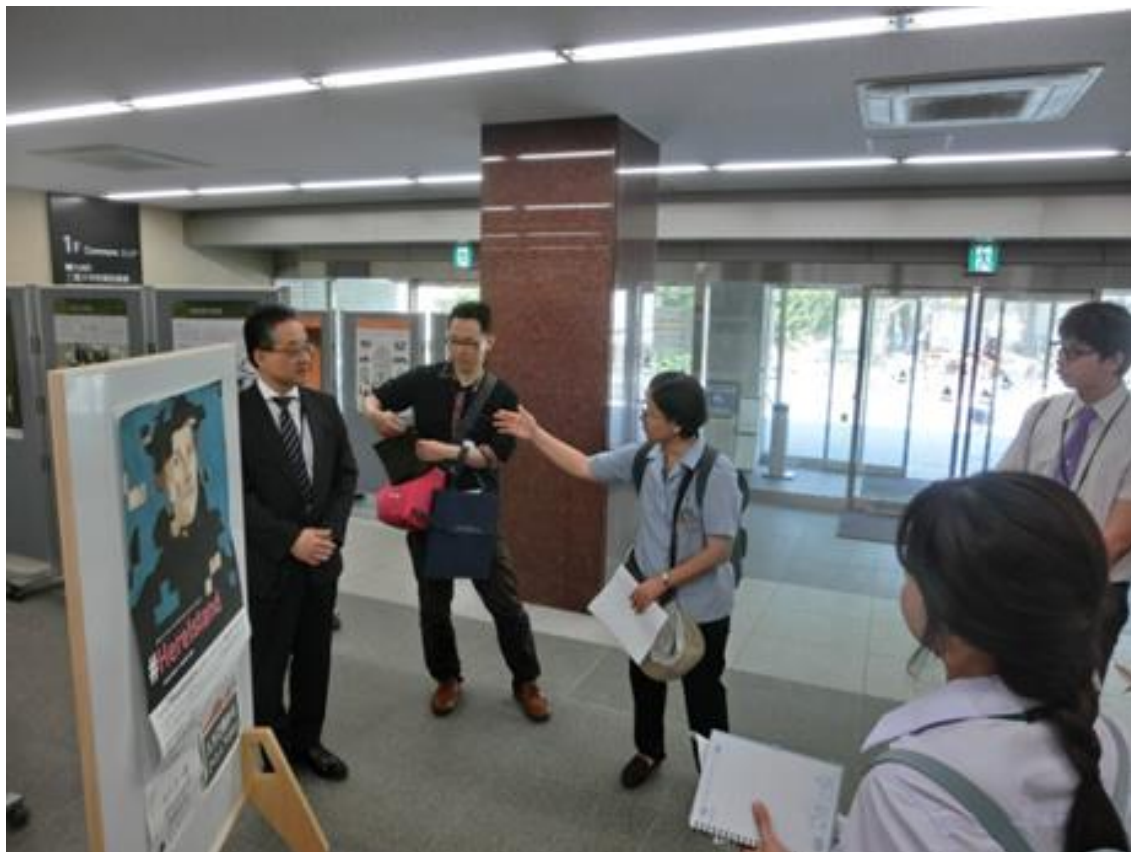
5月19日(金曜日), 三重大学と遠隔地の関連病院との間のITを駆使した連携や, 災害時の対応等を公立紀南病院ならびに, 浅里生活改善センター(南牟婁郡紀宝町浅里)で地域住民との意見交換会を交えて実体験した。マイクロバスでの移動。

5月20日(土曜日), 三重大学看護学科の教員の引率で, 本学学部学生とともに, 第20回国際福祉健康産業展(ウェルフェア2017)を見学した(名古屋市港区金城ふ

頭のポートメッセなごや). 近鉄とあおなみ線で移動した.
会場内では, ホンダ歩行アシスト機器の装着体験あり, さまざまな知見を増やせた.
(下図)



5月22日(月曜日), 三重大学の強みを知ることがテーマに, 図書館, 環境情報科学館を見学した。(下図)



5月22日(月曜日)午後, 三重大学附属病院では, 中央手術室の最新機器の見学を行った。看護部担当者が英語で説明した。(下図)

5月22日（月曜日）および5月23日（火曜日），三重大学医学部附属病院，スキルズラボ（MiT: Mie University Institute of Technical Skill Education）での研修を受けた。櫻井先生から丁寧なご指導を受け，強い印象を残した。（下図）



②5月27～6月3日：5月27日（土曜日），カトリック応用科学大学看護学専攻 学部学生5名来訪，翌28日（日曜日）には，同大学教員3名が到着し6月3日まで滞在した。今回のテーマは，学校看護師（school nursing）とシミュレーション教育。

東京から直接，三重県志摩市に移動し，鳥羽市立長岡診療所長 鈴木孝明 先生のご指導を受け，地域医療の実態，地域住民との交流，地域基幹病院である県立志摩病院との連携などを体験，さらに，相模地区の小学校，中学校での養護教員の活動を見学した。5月29日（月曜日），三重大学では附属病院の院内学級，病児教育を見学し，担当の教員，附属病院看護師より，状況の説明を受けた。5月30日（火曜日），三重大学附属中学校を訪問，School nursingについて日本での養護教員の制度や資格など教示を受けた。ドイツには学校に養護教員や看護師が駐在する制度はない。必要性を訴えて行きたいとの感想を述べていた。

③9月23～30日，ドイツ，カトリック応用科学大学へ，本学の看護学科学部学生3名と教職員3名が訪問した。見学の上に留まらず，学部4年生の卒業研究に活かすことを提案。両大学の協力で英語での調査票を作成し，予備的調査も試みた。

④12月17～24日：カトリック応用科学大学 医療経営学 専攻学生10名，教員1名が看護学科，附属病院 & 紀南病院を訪問した。今回のテーマは病院経営とIT機器，AI，

およびロボティクスであった。最終日、12月23日（土曜日）には、第3回となる日独パネルディスカッションを開催した。この取り組みは本学 地域拠点サテライト、東紀州サテライト事業に認定された。この日、本学、工学研究科システム工学専攻メカトロニクス研究室 伊丹 琢 氏から、医療・福祉への応用について講義を受けた。高い関心を得た。



⑤2018年2月27～3月7日、タイ、チェンマイ大学看護学部へ学生4名と教職員3名が訪問した。チェンマイ大学では、附属病院小児科病棟、PICU等を見学した。ちょうど同じ時期に訪問していたマレーシアからの学生とも、英語での交流を行った。

また、タイ式マッサージ、チェンマイでの訪問看護を見学し、三重大学の学生および附属病院看護師からの発表の機会、また、児玉豊彦講師と PiyanutXuto 准教授との国際協同研究（テキストメッセージによる妊娠女性支援）の進捗確認と打合せが行われた。タイの教員からも「交流を通じて学生が英語力を高めている」ことが伝えられた。

チェンマイ大学小児科の見学。（右図）。



(4) 事業の意義

医学部看護学科（大学院医学系研究科看護学専攻）の提携校は、まだ少ない。しかし、上記交流により学生および教員間での共同研究も開始、進展が確認され、教育ならびに研究上の更なる発展が期待される。

(5) 事業の発展性

継続により、学生の見聞する内容を、地域および専門職領域まで、徐々に拡大することで、学習意欲と教育効果の向上が期待される。また、相互理解の伸展から、学生や教員間の共同研究事業に発展させる。

(6) 中期目標・中期計画における位置づけ

- #1 相互訪問の継続（提携校との信頼関係のさらなる醸成による）
- #2 教育：本学での単位認定に繋げた。2018年4月から新設コース開始。
- #3 学内での国際交流活動への学生参加のさらなる促進
- #4 相互交流を学生および教職員の研究に発展。

(7) その他

特になし。

平成 30 年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：日本語版）

2017 年度，三重大学医学部看護学科（大学院医学系研究科看護学専攻）は，「看護学科における ドイツ および タイ提携校との相互交流促進事業」として，下記のように，受け入れ 3 件，派遣 2 件を主管した。

- ① 5 月 18～25 日：タイ，チェンマイ大学から学生 6 名教員 1 名 JST さくらサイエンスプラン（SSP）で来訪し，三重大学および関連施設，また，名古屋での第 20 回国際福祉健康産業展（ウェルフェア 2017）を見学した。
- ② 5 月 27～6 月 3 日：ドイツ，カトリック応用科学大学 看護学 専攻学生 5 名，教員 3 名が 看護学科，附属病院，附属中学校 & 紀南病院を訪問した。今回のテーマは，学校看護師（school nursing）とシミュレーション教育であった。6 月 2 日には，このテーマで第 2 回の日独パネルディスカッションを開催した。
- ③ 9 月 23～30 日，ドイツ，カトリック応用科学大学へ，本学看護学科学部学生 3 名と教職員 3 名が訪問した。見学のみに留まらず，学部 4 年生の卒業研究に活かすことを提案。両大学の協力で英語での調査票を作成し，予備的調査も試みた。
- ④ 12 月 17～24 日：カトリック応用科学大学 医療経営学 専攻学生 10 名，教員 1 名が看護学科，附属病院 & 紀南病院を来訪した。今回のテーマは病院経営と IT 機器，AI，およびロボティクスであった。最終日，12 月 23 日（土曜日）には，第 3 回となる日独パネルディスカッションを開催した。この取り組みは本学 地域拠点サテライト，東紀州サテライト事業に認定された。
- ⑤ 2018 年 2 月 27～3 月 7 日，タイ，チェンマイ大学看護学部へ本学 学生 4 名と教職員 3 名が訪問した。チェンマイ大学病院では，小児科病棟，PICU 等を見学した。同じ時期に訪問していたマレーシアからの学生とも，英語での交流を行った。また，タイ式マッサージ，チェンマイでの訪問看護を見学し，三重大学の学生および附属病院看護師からの発表の機会を得た。また，児玉豊彦講師と PiyanutXuto 准教授との国際協同研究（テキストメッセージによる妊娠女性支援）の進捗確認と打合せが行われた。タイ側からも「交流を通じて学生が英語力を高めている」ことが伝えられた。

以上

平成 30 年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：英語版）

The School of Nursing, the Faculty of Medicine at Mie University coordinated following 5 programs focused on mutual international exchange, partnering with universities in Thailand and Germany in the 2017 fiscal year. The programs consisted of three receptions and two visits as described below.

Receptions:

1) Six students and an associate professor from the Faculty of Nursing at Chiang May University in Thailand visited Mie University from 18th to 25th May, as the program of “Sakura Science Plan” sponsored by Japan Science and Technology Agency (JST). They visited Mie University, Kinan Hospital, Kinan area, and “20th Welfare at Nagoya” etc.

2) Five nursing students from the Catholic University of Applied Sciences in Freiburg, Germany came to Mie University (School of Nursing, Mie University Hospital) and an affiliated hospital (Kinan Hospital) in Mie prefecture from 27th May to 3rd June, 2017. They brought their research interest: “school nursing” and “nursing education with simulation tools” . On 2nd June, we had the second workshop discussion with more than 30 participants.

3) Ten students at the Health Care Management Course and a professor (Prof. Elke Duesche) of the Catholic University of Applied Sciences in Freiburg, Germany visited Mie university and Kinan Hospital from 17th to 24th December, 2017. They brought a research topic: “ICT, AI and robotics” . On 23rd December, we had the third workshop discussion with more than 30 participants. The discussion was designated as one of East Kishu, Mie University Satellite Activities.

Visits:

1) Three undergraduate students, a faculty member of Mie University, School of Nursing and 2 members from Mie university hospital visited Catholic University of Applied Science, Freiburg, Germany, from 23rd to 30th September, 2017. They had chances to see several healthcare facilities and to discuss bachelor thesis for 4th grade students who were tackling with making questionnaires in English.

2) Four undergraduate students, a faculty member of Mie University, School of Nursing and 2 members from Mie university hospital visited Chiang Mai University, Thailand, from 27th February to 7th March, 2017. They had visited the university hospital,

attended with domiciliary care activity by nurse students, and presented Japanese situations. Both side faculties had a chance to discuss the collaborating activity to help pregnant women by text massage.

Y. N.